

平成18年度事業計画

日本原子力学会関西支部の平成18年度事業は、関西地域における原子力・放射線の利用を促進するとともに、国民各層への原子力知識の普及をはかることを目的とする。

このために、「講演会」「原子力オープンスクール」等を開催するとともに、学会と産業界との情報交流、人的交流を図り、関係機関が行う国民各層への原子力知識の普及活動に積極的に協力していく。

これらの事業の実施にあたっては、学会本部や関西原子力懇談会、関連学協会等との連携を保ち、効果的な運営に努める。

[1] 総会

定例の支部総会を開催（毎年4～5月）し、事業計画並びに収支予算、役員を選任等に関する重要事項を審議、決定する。

[2] 役員会

原則として3～4ヶ月に1回開催し、学会本部との連携のもとに支部事業の企画、運営に努める。

なお、適宜正副支部長会合を開催し、事業推進に係わる意見交換を行う。

[3] 講演会等

内外の原子力関係者を招き、原子力開発、放射線利用等に関する講演会を開催し、情報の交換を行う。また学生を対象とした研究発表会を開催する。

[4] 見学会

公共及び民間の原子力関連施設、研究機関等の見学を行い会員相互の啓発を図る。

[5] 新年交歓会

関西原子力懇談会と共催で、平成19年の新春に、原子力関係者の交流と親睦を図る交歓会を開催する。

[6] マスコミとの情報交換会

関西のマスコミ各社との交流を保ち、原子力に係わる各種情報の提供を図り、意見交換を図る。

[7] 原子力知識の普及啓発活動への協力

関係機関の行う国民各層への原子力知識の普及啓発活動に際しては、これに積極的に協力する。

[8] 国際交流

原子力関係の外国人留学生・研究者との交流の促進を行う。

[9] 日本原子力学会関西支部賞の贈呈

原子力・放射線等の広報活動や学術・技術支援活動を行った個人又は団体に対し「功績賞」を授与し、また学会・国際会議において優れた研究発表を行った関西支部所属の学生に対して「学生賞」をそれぞれ贈呈する。

[10] 原子力オープンスクール

平成17年度に引き続き、主として次代層を対象とした原子力オープンスクールを開催し、正しい原子力知識の普及を図る。(かんさいアトムサイエンス倶楽部)

[11] 本部事業への協力

下記の研究専門委員会の活動推進に協力する。

- ・「アクチニドの物性科学」研究専門委員会（継続）
（主査 大阪大学大学院工学研究科 教授 山中 伸介 氏）
- ・「放射線と社会・環境」研究専門委員会（予定）
（主査 神戸大学海事科学部 教授 小田 啓二 氏）

[12] 関係団体への協力（後援、協賛等）

- ・他学会等への後援、協賛

以上